



東濃地区の子育て・親育ち通信

「家庭教育なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただけます。

家庭教育なう

No.10



2026年1月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111〈内線 208〉

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。

日頃から、家庭教育学級の運営にご尽力をいただき、ありがとうございます。昨年も、様々な乳幼児学級、家庭教育学級などを取材させていただきました。保護者、園、学校職員、市職員のみなさんの家庭教育推進に感銘を受ける日々でした。新しい年を迎え、活動のまとめ、来年度への引継の時期となります。よろしくお祈いします。

お知らせ 今年度の役員・担当の皆様へ

1 来年度への引継について

新しい役員の方に引継をする時期を迎えます。次のような視点で引き継ぎの準備をされてはいかがでしょうか。

- 今年度の活動をまとめ、振り返る（成果や課題、数値、エピソードなども添えて）
- 参加者の感想や要望を聞く（自然な会話の中で、サロン型を活用して）
- 一年を終えての役員としての手応え・感想をまとめる（ご自身の感覚を大切に）
- 参加・協力してくださった方々に手応え・感想・感謝の気持ちを伝える（挨拶時、通信等）

各園、学校、事業所に続いている伝統的な家庭教育学級もあるかと思います。持続可能な活動として、新しい役員の方にわかっていただけるよう、確実に引継の準備をしておきましょう。

2 「閉級式」について

「閉級式」は、今年度の家庭教育学級等の成果や、来年度への引継事項を確認できる場となります。閉級式を実施される際に短い時間でも「サロン型での交流」を取り入れていただくのはどうでしょうか。家庭教育学級の活動とともに、自分の子育てを振り返る機会にさせていただくことで、皆さんが「このメンバーと学べてよかった。」と実感できることと思います。

3 令和8年度家庭教育学級リーダー研修会（幼保・乳幼児の部、小中学校の部）について

令和7年度は、総勢264名の園、小中学校の保護者、先生、公民館主事、各市家庭教育担当者の皆様などにご参加いただきました。

令和8年度も、東濃地区東部と西部に分けて下記の日 にちで実施することとします。

5月13日（水） 東部地区（中津川市・恵那市） 恵那総合庁舎

5月14日（木） 西部地区（多治見市、瑞浪市、土岐市） 東濃西部総合庁舎

午前に「幼保・乳幼児の部」、午後に「小中学校の部」を予定しています。日程など詳細については、本通信2月号で連絡します。家庭教育学級リーダー研修会の日 にちについて、新しい役員の皆様 にぜひお伝えください。

学校と家庭で考える「いのちの授業」

多治見市立精華小学校家庭教育学級 みんなで Hug くむ多治見の子

いのちの授業

日時 令和7年11月11日(火) 10:20~11:15
講師 宮口 晴子 さん (いのち伝えたい 助産師)
対象者 6年生児童120名とその保護者

ねらい
命の誕生の話を聞き、すべての人の「いのち」が素晴らしいと感じ、互いに尊重する心を養う
体の仕組みについて正しい知識を得る

「お母さん、(出産のときのこと)覚えてみえますか。命が生まれるって本当に素晴らしい。」



助産師の宮口晴子さん
お仕事を通したご自身の体験から、出産にかかる母親の思いや家族の思い、喜びなどお話されました

多治見市立精華小学校は、授業参観日に家庭教育学級として、6年生児童とその保護者を対象に「いのちの授業」を行いました。講師として、東濃地区で助産師としてお勤めの宮口晴子先生をお迎えし、出産・生命の誕生等のお話を伺いました。児童と保護者は並んで座り、話を聞きました。保護者への案内から、その内容を紹介します。

「いのちの授業」は体の仕組みと性の知識を正しく伝え、すべての人が「いのち」が素晴らしいと感じ、互いに尊重できるようになることを願い、開催します。最近ではSNSなどに性に関する様々な情報があふれています。性を「いやらしい」「はずかしい」ものでなく、尊いものとして、伝え、今後の学校生活やご家庭での会話につなげていく機会になることを期待しています。

授業の概要

- 1 自己紹介
- 2 助産師という仕事
- 3 赤ちゃんが生まれるということ
卵子の大きさ・妊娠から出産まで
- 3 名前は親からの最初のプレゼント
名前にどんな願いが込められていますか
- 4 出産の様子(DVD視聴)
みんながどんなふうになんて産まれてきたか
お母さん、覚えていますか
- 5 入院中、お母さんは子育てを学びます
- 6 あなたの誕生を喜ぶ人たちの存在

挨拶する林信彦校長先生



冒頭、林信彦校長先生から「いのちの授業」の大切さについてお話がありました。宮口さんも何度も打合せをしてこの授業に臨まれたそうです。



お話する宮口晴子さん

参観された保護者の感想からも「いのちの授業」の大切さがわかります

- 「こんなにも小さな(紙の穴のように)ところから始まって、どんどん大きくなって、最終的に大切な命につながっていくのは、とてもすごい事だと分かった。」と子どもから言われました。今日のお話でいろいろと伝わったようで、親としてもうれしかったです。帰ってきたら、「へその緒」を見せたいと思います。今日は本当にありがとうございました。
- 伝えるタイミングがむずかしい内容を授業を通して、親子で学べたことがすごくありがたいなと思いました。大切なことなので、家族でも成長と共に話し合いたいです。

会場は体育館・親子が並んで座っていました



授業の終わりには、心に残ったことをとらに座っていたお父さんやお母さんとお話しました。その後、お友だちとも感想を交流しました。自然な形でお話ができ、学びが深まりました。全体の場で感想を発表する児童もありました。

「いのちの授業」の素晴らしさは、授業後に子どもの自己肯定感が高まることです。家族からはもちろん、出産に関わった多くの方から「あなたの元気な誕生をみんな待っていたよ」という思いを直接聞くことができるのは、自分の存在を無条件に認めてもらえる安心感につながります。☺



授業後、保護者の方が熱心に感想を記入されました

子育てについて保護者と行政担当者が直接意見交換

中津川市家庭教育推進事業

わくわく子育てフォーラム

日時 令和7年11月19日(水) 10:00~12:00
会場 ひと・まちテラス101 託児受付あり
主催 中津川市生涯学習スポーツ課
講師 いちかわ あつき さん(ひとり語り「劇車 銀河鉄道」、中津川市在住の語り家)
参加者 家庭教育支援推進会議メンバー13名、保護者18名



「一方通行ではダメなんです。」



交流会の様子

保護者と行政担当者が一緒になって中津川市の子育てについて楽しく交流

今年で第11回目をむかえた「中津川市わくわく子育てフォーラム」。この会は、中津川市で子育て真っ最中の保護者と家庭教育、子育て支援を担当している行政担当者が、直接意見交換することを意図して実施されています。保護者は、日頃子育てについて考えていることなど、行政担当者に伝えることができます。行政側にとっては、直接、保護者の想い・ニーズを聞き取る貴重な機会になります。結果として、意見交換した内容が、事業に反映していきます。保護者が市政を身近に感じ、自身の「子育て・親育ち」により一層、主体的に取り組んでいてもらいたいと考え、行ってきたそうです。そして、なにより「楽しい子育て」を中津川市に広めることを願って実施してみえます。

日程の概要

- 1 開会 あいさつ
生涯学習スポーツ課 青木課長
- 2 子育てプチ講話
「ようこそ よみ語りの世界へ」
いちかわ あつきさん
- 3 交流会(グループにて)
楽しい子育てを広めよう
- 4 発表
どんなことが話題になりましたか
- 5 まとめ
恵那県事務所家庭教育推進専門職 大島明浩
- 6 閉会 終わりの言葉
生涯学習スポーツ課 小川家庭教育指導員

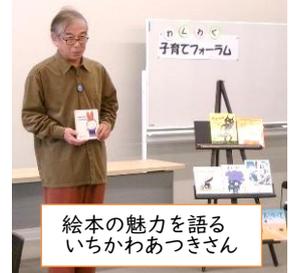
フォーラムを参観して

近江商人の言葉「三方よし」ではありませんが、この会には、保護者にとって自分の想いを表出する良さ、行政にとっては保護者のニーズを直接聞き取れる良さがあります。そして、子どもにとっても、よりよい環境に向かう良さがあると感じました。

フォーラムの内容

前半は、子育てプチ講話として、中津川市在住で、絵本の読み聞かせを行ってみえるいちかわあつきさんの「ようこそ よみ語りの世界へ」を楽しみました。いちかわさんの「よみ語り」は聞き手が絵本の世界に引き込まれ、読み聞かせの楽しさを心から感じられるものでした。

後半は、交流会「楽しい子育てを広めよう」として保護者と行政担当者の意見交換会が行われました。少人数で、和気あいあいとした雰囲気の中、自由に意見が交わされていました。過去、この話し合いから、「子どもの一時預かり」のしくみができあがったそうです。今回、参加者の意志の疎通も進み、夢のある意見の交流もなされていました。



絵本の魅力を語る
いちかわあつきさん



家庭教育指導員のお話を熱心に聞き、グループ交流をする参加者のみなさん

行政の参加者は、10月に実施された「中津川家庭教育支援推進会議」のメンバーです。保護者の参加者は、中津川市の乳幼児学級や、マイスター講座を受講している子育てに関心の高い皆さんです。中津川市家庭教育支援チームのメンバーで、子育てもしつつ、支援もしている方も参加してみえました。

支援を行う、支援を依頼する、ツーウェイ(双方向)を実現する会でした

5 歳児保育参観 親が学ぶ 小学校入学への心がまえ

学校法人中京学院中京こども園

5 歳児保育参観及び懇談会・講話

日時 令和7年12月3日(水) 9:00~12:10

講師 土屋 真由美 さん(瑞浪市教育委員会 学校教育課 入学前担当)

参加者 5 歳児 23 名の保護者



小学校入学をひかえた園児の親としての心がまえを学ぶ



土屋さん(瑞浪市教育委員会)のお話を熱心に聞く参観者のみなさん

実りの秋を迎えたこの時期、中京こども園では、各クラスの「保育参観」を実施してみえます。今回は、来年春の小学校入学をひかえた「5 歳児の保育参観及び懇談会・講話」についてお伝えします。

日程は、下記のようなものでした。参観日の活動の中に、家庭教育の大切な視点がたくさん感じられました。

参観日の日程・概要

- 1 受付
- 2 学年懇談会
グループに分かれて
園からのお知らせ
- 3 保育参観(クラス活動)
朝の会、けん玉発表会
- 4 講話
瑞浪市教育委員会入学前担当
土屋 真由美さん
- 5 給食试食会
給食参観



和やかな雰囲気での交流会

① 親同士が「つながる」

中京こども園では、学年懇談会を園での活動の様子を伝え、保護者同士のつながりをつくる機会ととらえ、「グループ交流会」を取り入れてみえます。今回は、保護者を入学予定の小学校別のグループ編成にして、思いなどを交流してみえました。アイスブレイクなしでも、和やかな雰囲気での交流がなされ、保護者同士が「つながっている」と感じました。



真剣にけん玉の技を披露する園児

② 園の取り組みで進む親子の「ふれあい」

保育参観(クラス活動)では朝の会、けん玉発表会の様子を参観しました。園児たちは、けん玉発表会に向けて園でも、家庭でも自主的に練習に励む姿があったそうです。子どもたちの主体性を引き出す園の取組

の確かさと家庭での支えもあって、子どもたちはおうちの方の前で披露することをとても楽しみにしていました。発表後の保護者の感想を聞く場面では、担任の先生の「感想を聞きたいお家の方はいますか。」との投げかけに園児から「〇〇ちゃんのお母さん!」の声がありました。

発表会の感想を聞いた園児たちはとてもうれしそうでした。園児、先生、保護者の素敵な関係が垣間見えた瞬間でもありました。



発表会の感想をお話される保護者

③ 親の学び「小学校入学前の今、大切にしたいこと」

土屋さんからは、左記のような内容でお話がありました。これまでの教職経験を元に、「心配なことはすぐに相談するとよいです。」等のアドバイスがありました。

宮月園長先生からも「私立の園ですが、瑞浪市の教育委員会とも連携を取り合って、お子さんの入学について不安、心配のないように今日の講話を設定しました。」とお話があり、保護者のニーズに応えようとする配慮が感じられました。

講話の概要紹介

1 今、子どもに必要な力は…
人間力

やりたいことに夢中になれる
運動・栄養・睡眠・人の関わり

2 今、親として

しつけは、親から子どもへの
「幸せに生きる力」のプレゼント
(斎藤孝さん)

「ありがとう」が言い合える家族
へこたれない強さの基盤は自尊心
感性が育つのはこの時期

3 アンケートに関わって

環境が大きく変化する、戸惑いや
不安があって当たり前
親が大きく構えて、心配・不安は
学校と連絡を取り合っていくことが
大事です。

長年の教職の体験をもとに「家
庭・学校・保護者」の連携の大切
さをお話されました。

保護者の方に伺いました:参観日に年長になっての子ども成長を見ることができて、本当にうれしく思いました。これまでやったことなかった「けん玉」も家で自分から練習していました。講話もよい時期に教育委員会の方のお話が聞けて、入学へのイメージがふくらみました。

これからの親子のかかわり・入学の準備などについて学べる時間でした。